

「する・みる・支える・知る」スポーツ教育
「車いすバスケットボール体験」を開催します



ターゲット 4.1

令和4年10月31日
郡山市文化スポーツ部
スポーツ振興課
課長 郡司 兼介
TEL：924-3441

SDGs ターゲット 4.1 「質の高い初等教育及び中等教育を修了できるようにする」

東京 2020 オリンピック・パラリンピックレガシー継承事業「する・みる・支える・知る」スポーツ教育を桜小学校で行います。

今回は、福島県障がい者スポーツ協会と福島県車いすバスケットボール連盟から講師をお招きして、「車いすバスケットボール」を体験する授業を行います。

- 日時 11月4日(金) 9時20分～12時10分(授業開始9時20分)
- 会場 桜小学校 体育館
- 参加者 6年児童 9時20分～10時05分(6年1クラス) 各クラス24名程度
10時35分～11時20分(6年1クラス)
11時25分～12時10分(6年1クラス)
- 講師 福島県障がい者スポーツ協会 増子 恵美(ましこ めぐみ)氏
福島県車いすバスケットボール連盟 加藤 寿幸(かとう としゆき)氏
佐藤 浩之(さとう ひろゆき)氏

<「する・みる・支える・知る」スポーツ教育>

東京 2020 オリンピック・パラリンピックレガシー継承事業として、小・中学生のスポーツとの多様な関わり方(する・みる・支える・知る活動)を支援し、生涯にわたって心身の健康を維持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目的としています。

市内の希望する小・中学校(15校程度)を対象に講師派遣を予定しており、今回はその第11回目となります。